



## APEC 首脳への書簡



中華人民共和国主席  
アジア太平洋経済協力議長  
習 近平 閣下

拝啓

APECビジネス諮問委員会（ABAC：APEC Business Advisory Council）の2014年の提言書を提出することができ、大変光栄に存じます。

ABACは、経済成長と繁栄というAPECの目的を共有しています。この目的の達成には、貿易・投資の自由化加速、インフラの構築、特に中小・零細企業によるイノベーションの促進、が不可欠です。

20年前、APECは2020年までに自由で開かれた域内貿易・投資を実現するというボゴール目標を設定しました。2006年には、APEC首脳は、アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP：Free Trade Area of the Asia-Pacific）はボゴール目標達成の最も効果的な手段である、というABACの提言を採用しました。目標達成期限である2020年が差し迫る中で、最も高水準で可能な限り広範なFTAAPの構築をさらに発展させるため、APEC首脳のリーダーシップが必要とされています。このようなFTAAPは、企業の大小を問わず域内のビジネスに最大の利益をもたらします。私たちはAPEC首脳が、現在行われているさまざまな交渉の進展に基づき、既存の二国間・多国間の合意と整合性のとれた形で、FTAAP実現に向けてのロードマップを採択することを推奨します。FTAAP実現に向けた取り組みは、サプライチェーン・コネクティビティの促進、国境を越えたサービス取引の自由化、およびより野心的な立場での世界貿易機関（WTO）交渉によって強固なものとなります。

域内各地をより効率的に結ぶ強靱なインフラがなければ、FTAAPによる恩恵を十分に享受することはできません。しかし現状の域内におけるインフラ投資は経済成長を妨げる水準にあります。民間部門はこの不足分を解消することができます。各国・地域政府は、より良い政策環境の整備、官民パートナーシップの一層の促進、資本市場の進展と効果的な規制の枠組みを通じた長期貯蓄の稼動により、民間投資と国内消費を触発することができます。国際機関もまた重要な役割を有しています。この点でABACは、インフラ開発の為に、多国間の金融機能の充実を歓迎し、支持します。

ABACは、APECが「革新的な発展、経済改革と成長の促進」を2014年の最優先事項の一つとしていることを称賛します。イノベーション促進の取り組みは、最近の生産性上昇率の鈍化に歯止めをかけることでしょう。また、中小・零細企業への支援、女性の社会的地位向上、都市化・食料安全保障・健康・グリーン成長といった課題への取り組み、に対するコミットメントをさらに進めることは、グローバルな繁栄の動力源となり、アジア太平洋地域の活力を維持していくことになるでしょう。

こうした課題への取り組みとして、私たちの報告書では、地域経済統合、インフラとコネクティビティ、中小・零細企業、持続可能な発展、および金融の各分野に関し、広範囲にわたるイニシアティブの詳細を提示しています。ここに提言書を提出し、11月に北京で行われる対話において、私たちの提言について議論できることを期待しております。

敬具

2014年ABAC議長  
Ning Gaoning  
(寧 高寧)  
Chairman  
COFCO Corporation

ABAC共同議長  
インフラ・コネクティビティ  
作業部会部会長  
Wishnu Wardhana  
President Director  
PT. Indika Energy, Tbk.

ABAC共同議長  
地域経済統合  
作業部会副部会長  
Doris Ho  
President & CEO  
A. Magsaysay Inc.